

ISO/TC68 国内委員会総会 議事録¹

日 時：2019 年 6 月 7 日（金）9：30～12：00
場 所：日本銀行本店
出席者：金融研究所長・参事役・情報技術研究センター長、
ISO/TC68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン、
ISO/TC68 国内委員会事務局

- ISO/TC68 国内委員会（以下、当委員会）の松本勉委員長（横浜国立大学教授）の議事進行によって、報告が行われた。要旨は以下のとおり。

1. 開会挨拶

当委員会事務局より鹿島情報技術研究センター長（日本銀行金融研究所）の開会挨拶に続き、松本委員長が挨拶を行った。

2. 当委員会事務局からの報告および議題

2019 年 5 月 13～17 日にフランス・パリで開催された ISO/TC68 会合および ISO 20022 RMG 会合での討議内容を踏まえた足許の動向について、橋本事務局長が報告を行った。また、前回総会（2019 年 2 月）以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況について、席上で確認を行った²。このほか、「当委員会の運営見直し」に関して委員会内で審議を行った（別添資料 1 を参照）。

（当委員会の運営見直し）

前回総会（2019 年 2 月）では、ISO/TC68 へのエキスパート参加を呼び掛けて問題意識の共有を図ったが、エキスパート増員には至らなかった。これを受けて、今回総会では、当委員会規約改正を含めた運営見直し案を議題として取り上げた。

¹ 国際標準化機構（ISO）金融サービス分野の専門委員会（TC68）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

² 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある[※]。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。

※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

本件は、欠席者を含めて決議を行うこととし、後刻、メール審議を行うことで席上の了承を得た（2019年7月に規約改正を実施）。

3. リエゾン報告

① ISO/TC307 (Blockchain and Distributed Ledger Technologies)

ISO/TC307 国内審議委員会の楠委員長より、別添資料 2 に基づき、TC307 の最近の動向について報告が行われた。

② ISO/IEC³ JTC1/SC17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

ISO/IEC JTC1/SC17 国内委員会の廣川委員長より、別添資料 3 に基づき、SC17 の最近の動向について報告が行われた。

4. 当委員会事務局からの連絡

次回の ISO/TC68 国内委員会の開催時期は、ISO 20022 RMG 会合（2019 年 11 月 13～14 日、アメリカ・サンフランシスコ）後の 2020 年 1 月頃を予定していることを連絡した。

以 上

³ International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議。